総合せき損センター
2020年度　中央リハビリテーション部　業績

論文・著書

著者名(筆頭のみ)	論文・著書名	掲載誌名・出版社名	巻号頁	発行年
Yuto Ariji	A prediction model of functional outcome at 6 months using clinical findings of a person with traumatic SCI at 1 month after injury	Spinal Cord・SPRINGER NATURE	58. 11. 1158-1165	2020
出田良輔	外傷性脊髄損傷後の経時的ASIA Impairment Scal（AIS)の変化率について	日脊髄障害医会誌・日本脊髄障害医学会	33. 1. 12-15	2020
出田良輔	脊髄損傷後のリハビリテーション（リハビリ）治療標準化に向けたデータ集積システム構築	日脊髄障害医会誌・日本脊髄障害医学会	33. 1. 36-39	2020
吉弘愛	ASIA Impairment Scal（AIS)Dにおける自宅復帰に影響を及ぼす因子の検討	日脊髄障害医会誌・日本脊髄障害医学会	33. 1. 102-104	2020
本多佑也	脊髄損傷対麻痺者における歩行補助ロボットWPALと内側股継手付き長下肢装具との歩行能力の比較	日脊髄障害医会誌・日本脊髄障害医学会	33. 1. 128-132	2020
佐々木貴之	頚髄損傷患者における受傷から1年間の肺活量推移	日呼吸ケアリハ会誌・日本呼吸ケア･リハビリテーション学会	29. 1. 92-96	2020
Tomoki Naka	The effects of lower extremity deep sensory impairments on walking capability in patients with incomplete cervical spinal cord injury	J Spinal Cord Med・TAYLOR & FRANCIS	45. 2. 287–292	2020

学会発表

演者名	演題名	学会名等	開催年月
渡辺良一	脊髄損傷後の1ヶ月以内の作業療法における治療項目の傾向について　-データ集積システム「リハTIME」を用いて-	第57回日本リハビリテーション医学会	2020.8
出田良輔	脊髄損傷後の1ヶ月以内の理学療法における治療項目の傾向について　-データ集積システム「リハTIME」を用いて-	第57回日本リハビリテーション医学会	2020.8
村井聖	受傷時年齢が頚髄損傷者のADL獲得に及ぼす影響	第57回日本リハビリテーション医学会	2020.8
出田良輔	Time course of spasticity according to ASIA Impairment scale after traumatic spinal cord injury	ISCoS 2020	2020.9
佐々木貴之	Recovery of upper extremity motor score and motor level in patients with motor complete paralysis due to cervical spinal cord injury	ISCoS 2020	2020.9
本多佑也	Resting oxygen uptake in patients with spinal cord injuries	ISCoS 2020	2020.9
植村正敏	脊髄損傷者におけるトイレの環境整備内容の実態調査	第54回日本作業療法学会	2020.9
有地祐人	脊髄損傷者のASIA Impairment Scaleと仙髄領域評価の関係性	第18回日本神経理学療法学会学術大会	2020.11
吉弘愛	脊髄損傷運動完全麻痺者の安静時酸素摂取量	第18回日本神経理学療法学会学術大会	2020.11
岩橋謙次	頚髄損傷不全麻痺者の移乗動作に必要な因子	第68回日本職業・災害医学会	2020.12

講演

演者名	演題名	講演会名等	開催年月
佐々木貴之	神経理学療法学実習B	YICリハビリテーション大学校	2020.10
中智樹	脊髄損傷者に対するリハビリテーション	北九州リハビリテーション学院	2020.11
渡辺良一	脊髄損傷のリハビリテーション	柳川リハビリテーション学院	2020.12
古賀隆一郎	神経理学療法学実習B	YICリハビリテーション大学校	2020.12
佐々木貴之	脊髄損傷のリハビリテーション	医療福祉専門学校　緑生館	2020.12
有地祐人	脊髄損傷者のスポーツ選手に対する対応	福岡県理学療法士会2020年度 第6回障がい者スポーツ研修会	2021.2